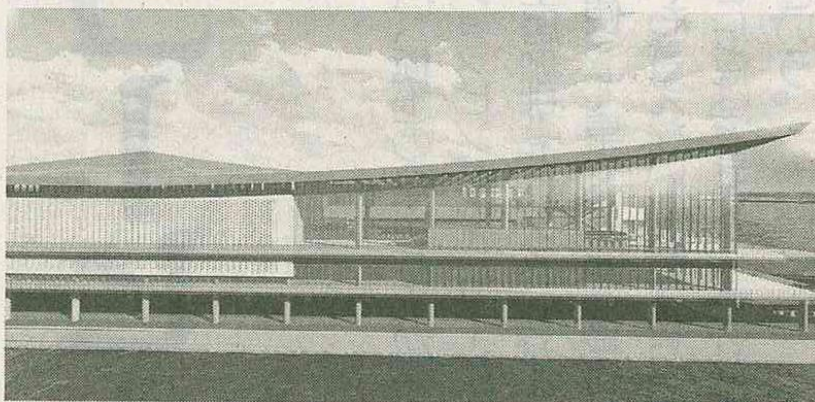


東京都は臨海副都心の青海に建設する新客船ふ頭ターミナルの概要を発表した。建物は4階建てで、延べ床面積は約1万5千平方メートルある。波や船の帆をイメージした大きな屋根が特徴だ。2020年五輪までに整備し、増加傾向にある大型船を受け入れる。完成後も岸壁の延伸や拡張を進めて、最終的に大型船2隻が停泊できるようにする。

新客船ターミナルは船

## 青海の新客船ターミナル 大型2隻が停泊可能

の科学館のそばに建設する。待合ロビーや入管、



### 都、概要発表 波や帆イメージ

首都の玄関口をコンセプトにした

(イメージ)

税関スペースなどを設け、内装には多摩の木材を使う構想もある。屋根には太陽光発電パネルを設置し、自然エネルギーを活用する。

現在の晴海の客船ターミナルはレインボーブリッジをくぐる必要があるため、大型船は利用できない。都は暫定的に大井にある水産物ふ頭で大型客船を受け入れている。